

## 平成28年度第4回大阪都市魅力戦略推進会議 議事概要

日時：平成28年10月28日（金）16:15～17:00

場所：大阪商工会議所地下1階 1号会議室

出席委員：溝畑会長、佐藤副会長、相原委員、近藤委員、橋爪委員、山本委員

オブザーバー：市長会・町村長会、関西経済同友会、大阪商工会議所

〔開会〕

〔パブリックコメント実施の報告〕

○資料1により、事務局から説明

### ■溝畑会長

○意見を提出された方は、府市の回答に納得されているのか。

→事務局

○パブリックコメントへの回答については、ホームページ等での公表を以て府市の考え方を示し、意見に対し対応出来るものは対応している。例えば、大阪マラソンにおける障がい者の方への合理的配慮に関するご意見に対して、手話ボランティアの配置場所や、筆談対応についてホームページなどでの案内を追加した。

〔戦略（案）の修正点について〕

○資料2により、事務局から説明

### ■相原委員

○新規で追加された項目について、府市の施策等の動きに関連して追加されたという理解で良いか。

→事務局

○お示しのとおりで、例えば夢洲の項目については、国の動きも出てきたことから重要性が高いと判断し修正したもの。

### ■近藤委員

○非常に多岐にわたる内容。人材育成の観点で、34ページの「留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業」は効果的と思うが、例えば公営住宅なども視野に入っているという理解で良いか。

→事務局

○法改正を受け、大学が契約を結び留学生に部屋を提供する事業が開始されており、府の住宅供給公社等もこうした取組みを進めていこうとするもの。

#### ■橋爪委員

○万国博覧会を2025年に大阪で開催できるか未定のため、現時点で戦略には万博の基本的な考え方を盛り込んでいない。戦略の計画期間は2020年までだが、開催が決定すれば、万博を視野に入れ戦略を修正することになる。万博に限らず、社会的な情勢の変化に応じ、戦略の大胆な修正や見直しが必要になることも考慮いただきたい。

○スケジュールイメージでは、単年度実施のものと2020年までの複数年度で実施するものがあるが、単年度事業は事情の変化によって終了しがち。毎年内容を見直しながらも、必要な事業は継続すべき。

#### ■山本委員

○ここ10年間、大阪は芸能の都であることを発信しているが、古典芸能と観光が一つの事業としてどのように展開できるか模索しているところ。今後は、パラリンピックに向けた取組みを強化していきたい。

#### ■佐藤副会長

○今回の修正で、住民や地域の視点がより盛り込まれた印象。例えば淀川であれば沿川住民、大阪駅周辺では企業などとの連携といったメッセージが現れている。行政だけで進めるのではなく、みんなで取り組むという方向性を広めていただきたい。

#### ■溝畑会長

○評価すべきは、大阪府全域を巻き込むという方向性が示されている点、世界と競争するという高い目標を持っている点、生産性・収益性を高めていくために、MICEやIRなどの高付加価値型の観光を目指すことを打ち出している点。文化や芸術についても都市の魅力の一つとして位置づけており、バランスの良い内容。

○今後、時宜に合うようフレキシブルに対応しながら、戦略の趣旨に基づき進めていければと思う。

○この内容を以て、最終の取りまとめを行うということでよろしいか。

⇒（全委員）異議なし

〔今後の進捗管理・評価管理等について〕

#### ■事務局

○戦略に基づく都市魅力関連施策の進捗管理や評価管理について、個々の事業評価と、「目指すべき都市像」ごとの評価の2つの側面から実施していく予定。その際には、当会議の意見も伺いながら議論を進めたいと考えている。

#### ■橋爪委員

○当会議は継続して開催するということか。また、戦略の評価にあたって委員から意見を述べるという理解で良いか。

→事務局

○会議体自体は継続して存置し、評価等について意見を伺うために会議を開催する予定。

〔オブザーバーからの意見〕

■市長会・町村長会（オブザーバー）

○府内市町村としても、戦略策定は大いに歓迎するところ。府内には歴史的・文化的な観光資源が多々あるので、これらを活用していかに多くの市町村にインバウンドを誘客できるのかが課題。取組みにあたっては、府や大阪観光局等と協力の上、大阪の魅力を世界に発信出来ればと期待している。

■大阪商工会議所（オブザーバー）

○非常に広範囲にわたる戦略だが、今後の取組みの道筋が示されたと認識。人員や予算が限られるなか、来年から徴収が開始される宿泊税も有効に活用いただきながら、観光が大阪のメイン産業となるようご支援いただければと思う。

■関西経済同友会（オブザーバー）

○万博のテーマに掲げられている健康長寿については、幅広い産業を「健康長寿」と関連づけて、多角的に捉えられるので、戦略ともマッチしている。個々の施策については、民の力も重要と受け止めているので、今後しっかり議論していきたい。

〔岡本府民文化部長あいさつ〕

○4月より7ヶ月間にわたり、委員の皆様には様々な観点からご意見・ご議論を賜り、本日最終案を取りまとめることができたことを府市を代表しお礼申し上げます。戦略目標の「内外から人、モノ、投資等と呼び込む『強い大阪』の実現」と、「世界に存在感を示す『大阪』の実現」に向け、経済界や府内市町村とも連携を図りながら、効果的な施策を展開するよう努めてまいりたい。

○大阪は文化が弱いといった指摘もあるが、戦略では文化を都市魅力のひとつに位置づけ、様々取り組んでいるところ。今年も11月20日に御堂筋を解放するイベントを実施し、能勢人形浄瑠璃や歌舞伎俳優も参加するなど大阪の文化を紹介していくので、今後も注目いただければと思う。

○時宜にかなった対応の必要性についてご指摘いただいたが、来年度以降も、進捗管理・評価管理とあわせ、必要に応じ戦略内容を修正するためにも、当会議でご意見・ご議論を賜りたいと考えているので、よろしくお願い申し上げます。

〔閉会〕